

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0173501131		
法人名	医療法人社団 上田病院		
事業所名	グループホームゆうゆう		
所在地	室蘭市日の出町2丁目2番27号		
自己評価作成日	平成22年9月20日	評価結果市町村受理日	平成22年11月22日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaijohoho-hokkaido.jp/kaiqosip/infomationPublic.do?JCD=0173501131&amp;SCD=320">http://system.kaijohoho-hokkaido.jp/kaiqosip/infomationPublic.do?JCD=0173501131&amp;SCD=320</a>
-------------	---

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>3ユニットあり、2階建てで広いホーム内を開放し自由に入出入りしています。運動不足になりがちな冬期間は階段の上り下りなどを行い、身体機能の維持につなげています。夜勤時も各ユニット1名ずつで3名いますので心強く思っています。</p>
---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成22年10月27日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>1)ホームの環境は東室蘭駅に近く、大型店舗に隣接しており、利便性に恵まれている。広い敷地を有し、建物内部は広く明るく、3ユニットが独立と調和を保ちながら生活できるように設計され、各種設備も完備しており、スプリンクラー設置など不燃性に配慮された造りになっている。2)運営母体は医療法人で、医療との連携が期待でき、人事交流もあり、病院の各種機能を活用することができる。3)職員は施設長・管理者の専門知識を基に医療と介護の融和を図ったきめ細かな質の高いサービスを実施し、利用者の健康維持と自立に効果をあげ、利用者の表情は明るい。4)家族の来訪は多く信頼は厚い。5)運営推進会議は定期的に開催し、利用者の生活・職員の研修・行事関係を報告し、防災について討議するなど参加者の意見を吸収して運営に活かしている。6)地域との関係については、住民を含めた災害時連絡網を作り、共に避難訓練するなど災害時の協力体制が図られている。事業所行事には参加を呼びかけ、認知症サポーター養成講座、救命講習を開催し、事業所の持てる機能を地域に還元している。また行政との協力関係も盛んである。</p>
--

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検しうえて、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日のミーティング時や月に一度のユニット会議の時などに、どのように実践につなげるか話し合っています	住み慣れた地域で自分らしく生き甲斐のもてる生活が維持できるように独自の理念を策定し、掲示している。理念は会議等で互いに共有し実践している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、行事などに参加しています	日頃から挨拶をする等交流に努め、町内会に加入し行事に参加している。事業所主催の救命講習、認知症サポーター養成講座を実施し多数の参加があった。AED設置を案内している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議には町会・地域包括支援センターの方・家族に出席して頂き情報収集をしています		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を行い、家族や地域の方々の意見をいただき、サービス向上に活かしています	定期的に会議を開催し包括支援センター職員、消防署員、地域代表、家族、事業所関係者が参加し、ホーム運営、防災対策など意見交換し、会議録は包括センターや市に提出している。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	各種の会議、研修会などに参加し交流しています 事業所の実情やケアサービスの取り組み状況を報告しています	行政とは事業所の運営状況報告などで連絡を密にしており、市や道主催の講習会、勉強会には積極的に参加し交流を図っている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修会に参加しています	身体拘束廃止委員会をもうけ職員の意識共有を図り研修に参加しマニュアルを整備している。玄関は日中施錠しないで安全に配慮しながら自由な雰囲気のある生活を支援している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会などで学び、防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を必要とする人がいたので学びました		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時に十分説明しています 契約時には書面を持って明示・説明を行い理解・納得を得られるようにしている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しています 意見・苦情があった場合は速やかに職員全員の周知を行い検討し改善に向けています	運営推進会議や来訪時に家族の意見を聴いている。意見箱を設置する他、苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員会など外部への苦情相談窓口を案内している。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は都度管理者・施設長に伝えていきます リーダー会議、ユニット会議にて反映させていきます	毎月のユニット会議、リーダー会議、研修会や毎日のミーティングで意見交換し職員の意見は管理者、施設長に伝え運営に反映させている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得のための研修への参加 担当業務の割り当て 個別の面談 実績に応じた昇給		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会の実施 研修・講習会への参加		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や広域連絡会で情報の交換を行っている 連絡会主催による事例発表会、研修会等の実施		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に家族から情報を収集し本人と家族に会い、言動を観察しながら思いを探ります		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	連絡やコミュニケーションを密にとり、家族の思いを話し易くできるように努めています		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意向を十分に聞き、本人の状況に応じて他のサービス利用を含めた情報を提供します		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いを理解し、その人らしく生活できるように心がけています		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは情報を共有し、コミュニケーションを多く持ち信頼関係を築いていけるよう努めています		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・外出・外泊などは自由に行なっています 行きつけの美容院など本人・家族の希望に応じて送迎しています	家族の病気見舞いや外泊など個々の希望する外出を支援する他、家族や友人の来訪を歓迎し、事業所内でゆっくり寛げるよう配慮している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者さん同士の自主性を重んじ、見守りを行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで退居する場合、受け入れ先の病院・施設と十分に連携し情報を提供し本人・家族が安心して過ごせるよう配慮しています		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の望む暮らし方を本人から情報を得ています 意思の疎通が困難な場合は家族から情報を得ています	センター方式を有効に活用し言動、表情などから希望、意向を引き出し、関係者の情報も取り入れ、本人の状況に沿えるよう検討している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントと家族からの聞き取りで、これまでの生活歴の把握に努めています		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりがその人らしく過ごせるようプランに添って記録し、心身の状態に応じ対応しています		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人ひとりにそった具体的計画を作成しています 本人や家族の要望をきき、職員全員が意見を出し合い介護計画を作成しています	本人、家族の意向を尊重し、担当者、計画作成者、他の関係者を含めて会議で検討した上で介護計画を作成している。定期的に見直す他、随時状況に見合った計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に基づき、日々の様子やケアの実践を介護記録として個別に記入し職員全員で情報を共有しています		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族から要望があった場合は対応できる体勢があります		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議には町会長・町会役員などに参加してもらっています 詩吟などのボランティアも受け入れしています 町会・消防と連携した防災訓練を実施		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医からの情報収集を行い、本人・家族の希望により継続して医療を受けられるよう支援しています。受診の際には都度本人・家族の希望により受診先を決めています	家族、本人希望のかかりつけ医との連絡や通院を支援している。日常健康管理は毎週提携医師の訪問診療があり、常に適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を確保しています 法人内の看護職員が訪問看護に来てくれます			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には介護添書を記入、入院後も同じケアが受けられるよう努めています 回復状況を確認し、退院後の生活がスムーズに行えるよう情報収集に努めています			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の覚書に添って本人の望む生活で対応しています 家族と連絡を密にし、主治医の指示の素本人・家族の希望に添えるよう配慮しています	重度化に向けての対応については本人、家族、医師、看護師、介護職員と話し合い文書により確認している。医療機関とも連絡をとりながら事業所としてできるだけことを支援している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急処置のマニュアルを作成しています ミーティング時に緊急時のシミュレーションを実施しています			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2～3回防災訓練を実施しています 入居者・町会の方にも参加してもらい実施しています	避難訓練を利用者、消防署、地域住民参加協力のもと夜間も想定して実施している。火災報知器の手順、避難経路の確認を行い訓練参加者は年々増加傾向にある。		
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別ケアに配慮しています 言葉掛けや対応で誇りやプライバシーを損なわないよう気をつけています	個々の尊厳を大切にし言動に配慮し対応している。個人記録文書はプライバシーに配慮して管理している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表情や言動を観察し声かけを行い、手を出し過ぎず、自己決定できるよう努めています			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、その人なりのペースにあわせ生活しています			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類などは自分で選んで着ています 行きつけの美容室がある人は定期的に行っています			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	認知症が重症化してきた人が多く、一緒に調理することは難しくなってきたので、簡単な作業のみとなっている。一人ひとりに合わせた食事形態で提供しています	個々の嗜好を取り入れた献立を作成し、もてる力に応じて作業協力している。職員と共に食卓を囲み、談笑しながらの食事は楽しみとなっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量・水分量を把握しています 困難な人にはミキサー食、刻み食、栄養補助食品、トロミ剤を使用したりと、その人に適した形態で提供しています		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨き、義歯洗浄、うがいをしています 自分で出来ない方はスタッフが行っていきます 就寝前には義歯を預かり洗浄剤消毒しています		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンを把握し、トイレ誘導し、トイレで気持ちよく排泄できるよう支援しています	個々の排泄記録を作成し、排泄パターンを把握している。表情や動作などからも察知し、さりげなく誘導して、自立排泄できるよう支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排便状況を把握し、水分摂取、下剤調整、坐薬使用で対応しています 植物繊維の多い食材を定期的に摂っています		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	希望する時間に入浴できるよう配慮しています 入浴を拒否する人には、時間を置いて言葉かけたり、職員を代えてみる等の対応をしています	基本的には週2～3回の入浴であるが、希望や状況により個別に対応している。車椅子の入浴には2人体制で行い、安全と快適さに配慮して支援している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のリズムが違うので、居室やリビングで自由に休息できるようにしています 自分の意思で休んだり出来ない人や、車椅子の人には、時間をみて臥床してもらっています		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬名・用法・用量は個別にファイルしています 医師の指示にて服用しています 誤薬防止のため係りを決め、名前、日時を読み上げ確認を徹底しています		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った楽しみを取り入れています 得意なこと、出来そうなことを一緒に行っています。散歩・日光浴・ドライブ・町内の行事に参加しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	自分ひとりで外出できないので、スタッフが同行し、散歩・買い物・ドライブなどに出かけています	散歩や買い物など日常的な外出支援の他、事業所行事の花見やぶどう狩り、水族館見物、時には大浴場の利用があり、外気に触れ生活の変化を楽しめるよう工夫している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物を希望するときは、納得・満足できるようスタッフが同行しています 預かり金の中から買い物をしています		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話が設置され、希望があればいつでも対応しています 手紙を書く人には支援しています		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下・トイレが広いので車椅子でも無理なく動くことができる リビングは吹き抜けになって、窓から光や風が心地よく感じられるよう配慮されている 季節ごとの行事にあわせ飾りつけをし、季節感を取り入れています	吹き抜けのあるリビングは採光、換気に配慮されて明るく広々としている。季節の作品や観葉植物が飾られ、窓からは手入れの行き届いた芝生が見える。対面式のキッチンから食事の準備の気配が感じられ家庭的な雰囲気である。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでソファーに座りテレビを観たり、気の合う人同士で会話を楽しんでいます。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人の使用していた馴染みの写真や布団を持ち込んでいます	居室は8畳と広く、明るく清潔で程よく整頓されている。馴染みの家具や家族写真、趣味の作品等を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	2階建を活かし階段の上り下りで、身体機能の維持につなげています		